

## アズキの病害虫情報

### 1、病害虫発生の概要と9月のアズキの病害虫発生予報

平成19年8月13日～17日に府内10地点の小豆ほ場を防除所が調査した結果、その概要は以下のとおりでした。(別表1参照)

- (1) モザイク病の発生は、平年並、前年並であった。
- (2) 炭そ病、さび病は発生を認めず、平年並、前年並であった。
- (3) ハダニ類は発生を認めず、平年並、前年並であった。
- (4) アブラムシ類の発生は、平年並、前年比多かった。
- (5) サヤムシガ類の発生は、平年並、前年並であった。
- (6) ハスモンヨトウの発生及び白変葉とも認めず、平年並、前年並であった。

上記の巡回調査結果や1ヶ月の天気予報等を踏まえて、ハスモンヨトウ、ハダニ類についての9月の発生予報は、ともに平年並の発生を予想しています(平成19年8月23日付病害虫発生予報第7号参照)。

### 2、子実害虫

8月の巡回調査ではサヤムシガ類の発生は、平年並でしたが(別表1参照)今後最も注意が必要な害虫の一つです。子実害虫にはアズキノメイガ、マメノメイガ、サヤムシガ類等がありますが、いずれも茎や莢等を食害し、収量や子実の品質に大きな影響を及ぼします。

子実害虫の防除上の注意すべき事項は以下のとおりです。

- (1) 子実害虫は発生すると被害が大きく、また、被害を確認してからでは手遅れとなることが多いので、開花始め頃から十分な注意が必要です。
- (2) 幼虫が茎や莢内に食入すると、防除効果が劣ります。このため、幼虫ふ化時期～食入開始時期の防除が重要で、開花始めから10日間隔で2～3回防除することが大切です。

なお、**アズキノメイガは8月下旬から、マメノメイガは9月上旬から発生が始まります。**

(別表1) 8月第3半旬～第4半旬の巡回調査結果

| 調査項目    |              | 19年(確認ほ場率) | 平年値等 |
|---------|--------------|------------|------|
| モザイク病   | 発病株率(%)      | 2.6 (40.0) | 7.1  |
|         |              |            |      |
| 炭そ病     | 発病株率(%)      | 0.0 (0.0)  | 1.4  |
|         |              |            |      |
| さび病     | 発病株率(%)      | 0.0 (0.0)  | 0.0  |
|         |              |            |      |
| ハダニ類    | 寄生株率(%)      | 0.0 (0.0)  | 0.7  |
|         | 25小葉当(匹)     | 0.0        | 0.8  |
| アブラムシ類  | 寄生株率(%)      | 1.2 (20.0) | 1.3  |
|         | 25小葉当(匹)     | 0.6        | 3.2  |
| サヤムシガ類  | 寄生株率(%)      | 0.4 (10.0) | 0.5  |
|         | 25株当(匹)      | 0.1        | 0.1  |
|         | 被害株率(%)      | 0.0 (0.0)  | 1.3  |
|         | 25株当(被害数)    | 0.0        | 0.4  |
| ハスモンヨトウ | 寄生株率(%)      | 0.0 (0.0)  | 0.3  |
|         | 25小葉当(匹)     | 0.0        | 0.6  |
|         | 白変葉(箇所数/10株) | 0.0 (0.0)  | 0.4  |

### 3、その他

一部ほ場でスズメガの食害が報告されています。今後も発生が懸念されますので、こまめに見回り、発生を確認したら、捕殺等で防除しましょう。